

1. 件名：志賀原子力発電所1号機 高圧炉心スプレィディーゼル発電機の自動停止及び地震に関する点検状況等に係る面談

2. 日時：令和6年1月26日（金）15：00～15：10、16：00～16：30

3. 場所：原子力規制庁3階会議室及びテレビ会議システム

4. 出席者：

原子力規制庁

長官官房総務課事故対処室

木原室長補佐

原子力規制部検査グループ 実用炉監視部門

菊川管理官補佐、志賀上級原子炉解析専門官、伊藤原子力運転検査官補、

大山原子力運転検査官補

北陸電力株式会社（以下「北陸電力」という。）

原子力部 担当者4名

東京支社 原子力技術チーム 担当者1名

5. 要旨

○ 北陸電力から、志賀原子力発電所1号機で確認された高圧炉心スプレィディーゼル発電機の作動試験時における自動停止について、資料に基づき説明があった。

○ 原子力規制庁から、要因分析による試験調査の進捗及び調査結果の確認を行った。

○ 北陸電力から、以下の回答があった。

- ・ 前回（1月22日）の面談以降、1月25日までに制御回路の点検、継電器及びロックアウトリレーの点検、無負荷運転による確認並びに負荷運転による確認を行った結果、機器等に原因となる異常は認められなかった。
- ・ 現在、要因分析において、並列前後の運転操作の影響を調査しており、その結果を踏まえて、当該発電機が自動停止した原因について、後日改めて説明する。

○ 北陸電力から、1月12日に実施した面談の補足説明として、発電所前面海域の水位上昇について、以下の説明があった。

- ・ 波高計は物揚場付近の海底に設置しており、海底から海面に向けて超音波を発射し、伝播時間を測定することで水位を0.5秒間隔で測定していた。
- ・ 測定された水位データとして、主に以下の水位上昇及び水位低下を確認している。

1月1日 16：35 約1.0メートルの水位上昇

16：37 約0.7メートルの水位低下

17：42 約1.3メートルの水位低下

17：46 約3.0メートルの水位上昇

6. 配付資料

- ・ 志賀 1 号機高圧炉心スプレイディーゼル発電機 地震後の保安確認中における発電機
ロックアウトリレー動作について（続報 2）